

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他レジャー施設 [球場]（企画担当）	・ 8月は人気グループのコンサートが予定されているほか、目下絶好調の在阪球団の試合が3試合あり、それが優勝決定試合になる可能性もあることから、かなりの来客数が期待できる。またほかの在阪球団も好調を持続すれば、更に来客数の増加が見込める。
	やや良くなる	百貨店（企画担当）	・ 周辺への新規ショップのオープンによる波及効果もあっても、来客数の下げ止まりがみられる。今後も徐々に増加に転じることを期待したい。
		百貨店（売場担当）	・ 自社系列の球団が優勝すれば多少良くなると思う。
		コンビニ（店長）	・ 競合店舗の閉店による売上の増加が、これからも維持できると思う。
		衣料品専門店（営業・販売）	・ しばらく離れていた客が戻りつつあることから、先行きに期待できる。
		高級レストラン（支配人）	・ S A R S の終息など社会的情勢の鎮静化により、回復傾向が見込まれる。
		都市型ホテル（経営者）	・ 予約が多めに入っている。外資系企業の研修会やイベント、コンベンションはやや多めで先行き期待が持てる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 現時点よりS A R S の影響は改善されると思う。現在でも少しずつ客が戻ってきている状態なので、このまま推移すると夏ぐらいには回復すると考えられる。
		旅行代理店（営業担当）	・ かつてない外的環境のなかでも一定の旅行需要があり、改めて旅行人気の根強さを感じている。今後、今まで旅行を手控えていた反動が出ると予想されるので、先行きは少し明るい状況になるものと期待される。
		旅行代理店（広報担当）	・ イラク戦争やS A R S 等については現在が底だと思う。客の様子も、そろそろ旅行に行こうという動きが出てきているので、この先良くなると感じられる。
		タクシー運転手	・ 申請中の料金改定に対する許可が下りれば、今まで他社に取られていた客が戻ってきて、今よりは良くなると思う。
		通信会社（経営者）	・ 若干であるが新規案件に対する顧客の意欲が高まってきたと思われることから、先行きに期待できる。
		競輪場（職員）	・ 施設のリニューアル等で来客数が安定化する傾向にあることから、今後期待できる。
		その他住宅 [情報誌] （編集者）	・ 公庫基準金利が、11年目以降の3.5%を含めて史上最低を更新したことで、不動産購入が後押しされると思われる。客層としてはシニア層と新婚層が活発に動いているが、とりわけ優遇税制による団塊世代からの生前贈与による新婚層の購入に期待がかかる。
変わらない	百貨店（売場主任）	・ プロバー商品の提案をしているが、ヒット商品が出ず、今後も売上の苦戦が予想されると思われる。	
	百貨店（売場主任）	・ 改装を予定しているが、改装後も売上が伸びる要素が見当たらず、厳しい状況が続くものと予想される。	
	百貨店（売場主任）	・ 秋物婦人服には新しいトレンドが明確に出ているが、海外旅行が解禁となれば国内消費は期待薄である。特にメインターゲットである20～34歳くらいの女性客はその傾向が強いと予想される。また、もう一方のメインターゲットである団塊の世代が社会保障費負担の増大などで支出を控えることも懸念される。	
	百貨店（売場主任）	・ 百貨店売上の中核である衣料品に関してはヒット商品が見当たらず、特にヤング層の苦戦が予想される。しかしその一方では、宝飾・時計などの商品で商談が活発になり、購買に結びつくケースも出てきたことで、秋以降の牽引役になることを期待している。このように一進一退の状況が続くと思われる。	
	百貨店（売場主任）	・ 秋物商戦に入るが、今のところ好転要素はない。よほどの希少性、付加価値がないと来客には結びつかないと感じており、今の厳しい状況が続くと思われる。	
	百貨店（売場主任）	・ 特に衣料品については厳しい状況が続くと思われる。秋商戦の切り札となるレザーや非ウールコートの早期買いに期待がかかる。	
	百貨店（経理担当）	・ お中元では法人、個人とも前年の売上を確保するのが困難な状況だと思われる。一方、美術品や呉服など贅沢品においては今の好調が続くだろうと思われる。	

	百貨店（営業担当）	・店全体としては、地下食料品売場の全面改装と、3階から地下階までの営業時間延長で前年売上の確保は達成できる見通しだが、その他の部門での増収計画が立っていないため、まだまだ苦戦が続くと予想される。
	百貨店（営業担当）	・金製品の引き合いは減ってきているが、インテリアやブランド品は今後も堅実な売行きであると思われる。
	スーパー（経営者）	・同業者の競争が一段と激しくなっているうえに、大型店が後から出店してきているので、このまま厳しい状況が続くそうである。
	コンビニ（経営者）	・公共料金支払による若干の来客数増加は期待できるが、客単価下落をカバーできるほどではない。
	家電量販店（店長）	・食器洗い乾燥機など新しい商品の伸びは凄まじいが、冷蔵庫や洗濯機などは壊れないとなかなか買い替えないことから、厳しい状況が続くと思われる。
	家電量販店（企画担当）	・目新しいヒット商品もないことから、エアコン商戦が予定通りいくかどうか不安がある。
	乗用車販売店（営業担当）	・話題になる商品がないほか、ボーナスを頭金として車を購入する動きがみられない。また、地方新聞にお買得車の広告を出したがあまり効果がないなど、良くなる要素が見当たらない。
	乗用車販売店（営業担当）	・全体的には低い水準が続くと思うが、法人客の営業車の入替えが非常に増えてきているほか、まだ躊躇がみられる一般客にも、今後低年式車からの入替えが出てくると思われる。
	自動車備品販売店（営業担当）	・客が中古品をリフォームして使う傾向がみられるので、これではなかなか景気は回復しないと思われる。
	観光型ホテル（経営者）	・先の予約状況をもみても特に良くなっていないばかりか、非常に厳しい状況である。また、現在予約されている団体についても、他の旅館などとのダブルブッキングがほとんどで、その半分くらいは最終的に消えるものと思われる。
	観光型旅館（経営者）	・まだSARS問題が尾を引きそうな感が強いことから、厳しい状況が続くと思われる。
	都市型ホテル（支配人）	・法人客の予約は低調であるが、一般客や団体客予約等でカバーしている。飲料、宿泊とも単価は厳しい状況であるが、来客数は若干増えていることから、今の状態は保てると思われる。
	タクシー運転手	・現在でも乗る人は乗る、乗らない人は乗らないという状況であり、この状態が続くと思われる。
	通信会社（経営者）	・携帯電話市場は成長が鈍化しているため、新商品投入などの少々の刺激策では上向くとは思えないことから、厳しい現状が続くと思われる。
	通信会社（社員）	・2～3か月先は、夏のボーナス商戦が終わった谷間でマーケットは縮小するが、新商品が出そう頃であることから、今とあまり変わらない状況は保てると思われる。
	観光名所（経理担当）	・昨年度はフードテーマパークの新規オープンで予定を上回る来客数となったが、今年度は大きな投資はないことから、現状維持が精一杯であると思われる。
	その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・ホールの稼働率はやや良くなったものの、イベント主催者からはいい話はほとんど聞かれず、イベント業界を取り巻く環境はまだまだ厳しいように見受けられることから、厳しい現状が続くと思われる。
	その他住宅[展示場] (従業員)	・相続時精算課税制度に期待したが、思ったような効果が出ていない。親の意思と子の考え方のギャップがあるのか、浸透するまで時間がかかると思われるため、まだ先行きには期待できない。
やや悪くなる	スーパー（企画担当）	・地場産業の梅の不作による収入減で、消費の減少が懸念される。
	衣料品専門店（経営者）	・給与削減やボーナスカットなどで、主婦層は洋服の購入を見合わせる考えられるので、恐らく秋物の売行きも厳しくなるであろうと思われる。
	乗用車販売店（経営者）	・客が非常に少なくなっているほか、受注残台数もゼロに等しいなど、先行きの見通しは暗い。
	乗用車販売店（経営者）	・修理件数が大幅に減少し、苦しい状況が続いていることから、先行きは厳しいと思われる。
	一般レストラン（スタッフ）	・SARSに関しては、報道の鎮静化によって不安感が薄れつつあるが、景況感の悪さは依然として続いており、基調としての変化はないと考える。
悪くなる	商店街（代表者）	・中堅スーパーの出店により撤退する企業が出てきている。今後も特に食品関係は大きな打撃を受けると予想される。

		一般小売店〔精肉〕 (管理担当)	・食肉へのセーフガードの発動により様々な影響が出てくる ことが懸念される。さらに流通履歴公開への対応も含めて、 周りの環境はこれからまだ厳しくなると思われる。
		その他専門店〔宝石〕 (経営者)	・主要品目が昨年と比べると全く変わってきているので、先 が読めなくなっている。仕入方法や売り方など、すべてを新 しく改善しなければ、この先ますます悪化していくと思われ る。
		都市型ホテル(副総支 配人)	・宿泊は依然として予約状況があまり芳しくないが、宴会は 予約状況からみて前年を上回りそうである。また店舗の業績 が伸びてきたこともあり、上向き傾向が期待できる。ただ全 体としては、宿泊の減少分を宴会、レストランで補いきれな いことから、悪くなると予想している。
企業 動向 関連	良くなる	建設業(経営者)	・当社の取り組んでいる市場は拡大傾向にあることから、今 後の売上増加に期待できる。
	やや良くなる	木材木製品製造業(経 営者)	・新規事業の注文や引き合いが出てきたことから、先行きに 期待できる。
		化学工業(経営者)	・新たな販売体制による、新規開拓分野の先行きに期待でき る。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・自社製品の開発が進み一部商談が成立するなど、先行きに 期待が持てる。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・自動車関連を中心に設備更新の引き合いが増加してきたこ とから、先行きに期待できる。
		広告代理店(従業員)	・神戸空港の開港が控えており、開港に関わる仕事が少々出 てきていることから、先行きに期待できる。
		その他サービス業〔イ ベント企画〕(経営 者)	・活発ではないが、新しい案件やこれまで埋もれていた案件 が動き出してきた感があることから、先行きに期待できる。
変わらない	一般機械器具製造業 (経営者)	・当社の製品はドイツからの輸入部品を多く使っていること から、ユーロ高が利益を圧迫している。売上が増加しても利 益の確保が難しい状況を見ると、先行きには期待できな い。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・需要はあるが、液晶や半導体の生産は海外、特に中国へ移 転され国内の動きが絶不調である。空洞化に關係の薄い水処 理分野も最終消費者が弱気で動きが鈍いなど、厳しい現状が 続くと予想される。	
	輸送業(営業所長)	・SARSの鎮静化による秋冬物の衣料関係の輸入安定化に 期待しているが、例年ほどは期待できない状況である。	
	不動産業(経営者)	・地価の下落から収益ビル等の利回りが高くなり、物件価格 が上昇に転じるとの予測をする投資家も現れているものの、 銀行に融資への慎重姿勢もみられることから、今の厳しい状 況が続くと思われる。	
	コピーサービス業(従 業員)	・SARSの終息宣言が出されると予想しているが、取引先 である旅行業者の不振はまだ続くと思われる。一方で在阪球 団の好調により、関連商品の販売やイベント企画等による オーダーが増え続けていることは唯一の明るい材料といえ る。	
	その他非製造業〔民間 放送〕(従業員)	・在阪球団による盛り上がりは、ナイター中継などの高視聴 率という意味で放送局にも恩恵をもたらしているが、一部の 放送局を除いて試合の中継数は限られているため、その効果 も一時的かつ散発的なものであり、先行きの盛り上がりには 期待できない。	
やや悪くなる	繊維工業(団体職員)	・とにかく受注への動きがみられない。ごく一部に、国産の 高付加価値商品の提案をしてほしいとの話は聞くが、実際の 注文はないことから、先行きの見通しは暗い。	
	広告代理店(営業担 当)	・TVのスポット広告の状況が昨年よりかなり悪い売行きで あるので、今後は厳しくなると思われる。	
悪くなる	不動産業(営業担当)	・不動産市場では取引の回転率が悪くなっており、売主の希 望価格で売れなくなってきている。路線価もかなり下がって いることから、取引はさらに低調になると思われるため、不 動産価格はまだまだ下がると思われる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(経営 者)	・かなりの企業が人員削減を行っており、もう限界に来てい る様子が見受けられる。そのため7月以降は求人も徐々に明 るさがみえてくるのではないかとと思われる。
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・求人広告の件数が前年を上回らないものの、減少の幅は縮 小しており、もう少しで回復となる可能性があることから、 先行きに期待できる。

	職業安定所（職員）	・求人開拓等による事業所訪問時に、今後の採用について前向きな回答をしている事業所が増加してきている。現時点での採用には慎重であるが、秋以降での採用を計画しているとの回答が増加傾向にあるため、今後の景気回復への期待感がうかがえる。
	民間職業紹介機関（支社長）	・中堅企業の採用意欲が、少しずつ増加してきていることから、先行きに期待できる。
	学校〔大学〕（就職担当）	・今月になって内定報告に来る学生たちが増加傾向にあるほか、複数の内定獲得者が増加している。企業の採用意欲が少し上向きになった感があることから、先行きに期待できる。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・企業におけるコスト削減意識が根強く、新規受注の増加が見込めない。また受注職種に偏りがあることから、求職者の希望とのミスマッチ傾向が今後も続くと思われる。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・単純軽作業などでは時間給の低下がみられ、そういった募集に対しては応募の集まりが悪いことから、厳しい状況は続くと思われる。
	職業安定所（職員）	・新規求職者は依然として減少し、新規求人数は増加傾向が続いている。雇用環境は好転しつつあるようにみえるが、SARSの影響が企業に出てくると予想されることから、予断を許さない状況である。
	職業安定所（職員）	・新規求人数は相変わらず順調に増えていて、対前年比で約2割増加している。しかしながら派遣や請負関係の求人が多く、就職に結びついていないことから、雇用環境の改善には至らないものと思われる。
	職業安定所（職員）	・今後2、3か月の間でリストラを行う企業からの相談等が目立っている。したがって先行きの見通しは厳しいと思われる。
やや悪くなる		
悪くなる		